表１　普及見込み地帯の試験成績（平成25～27年）

地帯区分	系統名 または 品種名	試験箇所数	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期差 (日)	倒伏程度	土壌病害発生程度 落葉病	茎疫病	萎凋病	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	着莢数 (莢/株)	子実重 (kg/10a)	子実重対比 (%)	百粒重 (g)	品質 (等級)
Ⅰ平均	十育164号	10	7.26	9.15	−2	0.3	0.0	0.0	0.0	64	12.4	51	380	105	15.7	2下
	サホロショウズ	10	7.25	9.17	0	1.5	0.2	0.1	0.0	75	12.8	51	362	100	15.0	2下
	きたろまん	10	7.27	9.21	4	1.3	0.1	0.0	0.0	70	12.6	47	382	106	15.7	3上
Ⅱ平均	十育164号	11	7.22	9.08	−4	1.0	0.0	0.0	0.0	73	12.8	54	377	99	14.5	2中
	きたろまん	11	7.24	9.12	0	1.7	0.0	0.0	0.0	78	13.1	51	381	100	15.1	2上
Ⅰ・Ⅱ平均	十育164号	21	7.24	9.11	−2	0.7	0.0	0.0	0.0	69	12.6	52	378	106	15.1	2中
	サホロショウズ	21	7.24	9.13	0	1.9	0.1	0.0	0.0	81	13.1	52	357	100	14.5	2中
	きたろまん	21	7.25	9.16	3	1.5	0.0	0.0	0.0	74	12.8	49	381	107	15.4	2中

注）1．地帯区分は道産豆類地帯別栽培指針（H6 北海道農政部）による。Ⅰ：早生種栽培地帯、Ⅱ：早・中生種栽培地帯。
2．倒伏程度及び土壌病害発生程度は、観察により 0：無、0.5：微、1：少、2：中、3：多、4：甚で評価。
3．品質は農産物規格規定あるいはそれに準ずる検査等級。
4．茎疫病多発ほ場における成績は平均から除いた。

表２　その他の特性

系統名 または 品種名	子実の形状 形	大きさ	種皮の地色	障害抵抗性 低温	落葉病 レース 1	2	区分	茎疫病 レース 1	3	4	区分	萎凋病*
十育164号	円筒	中の大	淡赤	中	R	S	強	R	R	R	かなり強	強
サホロショウズ	円筒	中の大	赤	中	S	S	弱	S	S	S	弱	弱
きたろまん	円筒	中の大	淡赤	やや強	R	S	強	R	S	S	強	強

注）1．あずき品種特性分類審査基準（昭和 56 年 3 月）による。育成地での観察・調査及び特性検定試験等の成績に基づいて分類した。ただし、＊は同基準に含まれていない特性である。
2．落葉病及び茎疫病抵抗性は、各レースに対して　R：抵抗性、S：罹病性を示す。
3．低温抵抗性は開花期頃の低温による着莢障害に対する抵抗性である。

表３　「十育164号」の製品試作試験における評価

対照品種	製品名	生産年・生産地	業者名	評価	コメント
サホロショウズ	つぶアン	H27 清里町	A 社	○	餡の香り、味良好。
		H25 十勝農試	E 社	□	白双糖との相性は同等。
		H26 十勝農試	E 社	□	製品の品質は同等。
	蜜豆	H26 十勝農試	E 社	□	製品の品質は同等。
	こしアン	H25 十勝農試	F 社	△	煮えムラが多かった。
きたろまん	つぶアン	H26 芽室町	B 社	○	風味が濃い目で美味。
		H26 芽室町	C 社	○	加工適性は良好。
		H26 芽室町	D 社	□	目立った優劣はない。
		H25 十勝農試	E 社	□	同じ煮え易さ。
		H26 十勝農試	E 社	□	製品の品質は同等。
	蜜豆	H26 十勝農試	E 社	□	製品の品質は同等。
	こしアン	H26 芽室町	G 社	△	あんことして不可はない。
		H26 芽室町	H 社	□	それほど変わらない。

注）対照品種に比べ○（やや優る）、□（同等）、△（やや劣る）。

▨：早生種栽培地帯（Ⅰ）
■：早・中生種栽培地帯（Ⅱ）

図１　「十育164号」の普及見込み地帯

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研十勝農業試験場　豆類グループ
電話（0155）62－2431　E-mail：tokachi-agri@hro.or.jp